



2021年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2020年11月6日

上場会社名 エヌアイシ・オートテック株式会社
 コード番号 5742 URL <http://www.nic-inc.co.jp/>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役会長 (氏名) 西川浩司

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理部長 (氏名) 藤井透

TEL 076-425-0738

四半期報告書提出予定日 2020年11月10日

配当支払開始予定日

2020年12月1日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	3,284	6.4	105	28.8	107	27.3	65	31.4
2020年3月期第2四半期	3,508	15.8	147	54.7	147	54.7	94	56.1

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 90百万円 (17.4%) 2020年3月期第2四半期 109百万円 (42.9%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	11.95	
2020年3月期第2四半期	17.43	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第2四半期	7,747	4,625	59.7
2020年3月期	7,431	4,643	62.5

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 4,625百万円 2020年3月期 4,643百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期		19.00		20.00	39.00
2021年3月期		20.00			
2021年3月期(予想)				21.00	41.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	8,468	28.0	616	220.8	614	248.9	400	300.0	73.45

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期2Q	5,500,000 株	2020年3月期	5,500,000 株
期末自己株式数	2021年3月期2Q	51,446 株	2020年3月期	51,422 株
期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期2Q	5,448,567 株	2020年3月期2Q	5,448,591 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
3. その他	10
(1) 生産・受注及び販売の状況	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

新型コロナウイルス感染症（COVID-19）の拡大という逆風下で始まった世界経済は、米中貿易摩擦、世界各地で発生している大規模自然災害など、当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済を取り巻く環境は、これまでに経験したことのないほど先の見通せない状況が続いており、全世界的に設備投資を控える動きが継続するとともに、輸出や生産、さらには個人消費などの大きな落ち込みにより、深刻な影響を受けております。

このような状況のもと、当社グループにおいては、出張の制限や時差出勤、テレワーク等を実施し、従業員への感染防止に努めつつ、事業の継続に取り組み、第1四半期において検収が延期となっていた案件を着実に遂行するとともに、オンラインツールを活用した商談を積極的に推進し、受注の確保に向けた営業活動を行ってまいりました。

また、With/Post COVID-19のニューノーマル社会への変革に対応できるよう生産設備の見直しを推進し、積極的に効率化を図るための新規設備を導入するとともに、既存設備の改良等にも取り組んでまいりました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は3,284百万円（前年同四半期比93.6%）、営業利益は105百万円（前年同四半期比71.2%）、経常利益は107百万円（前年同四半期比72.7%）、親会社株主に帰属する四半期純利益は65百万円（前年同四半期比68.6%）となりました。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

[アルファフレーム部門]

アルファフレーム部門におきましては、一般顧客向けの販売では、5月以降はCOVID-19の影響で従来の営業活動に支障が出ているものの、オンラインによる営業活動にその効果をより発揮できる当社独自の「カクチャ™」及び「マーケティングシステム™」を活用した作図案件及び新規引合い案件は順調であり、前期に対して微減したところで維持しております。また、大口顧客向け継続案件では、当第2四半期連結累計期間の受注が順調に推移いたしました。

この結果、当部門の売上高は2,287百万円（前年同四半期比102.1%）となりました。

[装置部門]

装置部門におきましては、前期末に複数大型案件の納入が完了したことによる装置製作工程の谷間から、当第2四半期連結累計期間の後半には回復を見込んでおりました。しかしながら、COVID-19の影響が長期拡大化してきていることにより、一時的な設備案件の減少とともに、予定していた設備案件の一部ではキャンセルではないものの来期への計画延期となるものも出てまいりました。

この結果、当部門の売上高は457百万円（前年同四半期比65.1%）となりました。

[商事部門]

商事部門におきましては、主要顧客各社ともCOVID-19の影響を受け、生産調整が計られたことにより消耗品や治工具類の売上が大きく減少いたしました。しかしながら機械設備関係については、前年同四半期よりも売上高は大幅に増加いたしました。

この結果、当部門の売上高は539百万円（前年同四半期比95.6%）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産・負債・純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前期末と比べ316百万円増加し、7,747百万円となりました。これは主に、現金及び預金が542百万円増加した一方で、受取手形及び売掛金が71百万円、仕掛品が125百万円、それぞれ減少したことなどによります。

負債は前期末と比べ334百万円増加し、3,122百万円となりました。これは主に、未払法人税等が61百万円、長期借入金が134百万円、それぞれ増加した一方で、支払手形及び買掛金が41百万円減少したことなどによります。

純資産は前期末と比べ18百万円減少し、4,625百万円となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上65百万円があった一方で配当金の支払い108百万円があったことにより、利益剰余金が43百万円減少したことなどによります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、前期末と比べ542百万円増加し、1,214百万円となりました。

営業活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の502百万円のキャッシュ・インに対し、601百万円のキャッシュ・インとなりました。これは税金等調整前四半期純利益の計上による資金の増加107百万円、たな卸資産の減少による資金の増加73百万円、未払消費税等の増加による資金の増加177百万円があったことなどが主な要因であります。

投資活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の417百万円のキャッシュ・アウトに対し、66百万円のキャッシュ・アウトとなりました。これは有形固定資産の取得による支出が60百万円あったことなどが主な要因であります。

財務活動によるキャッシュ・フローは、前年同期間の360百万円のキャッシュ・インに対し、7百万円のキャッシュ・インとなりました。これは長期借入金による収入が200百万円あった一方で、配当金の支払いによる支出が109百万円あったことなどが主な要因であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の通期の連結業績予想につきましては、2020年5月8日に発表しました業績予想に変更はありません。なお、当該業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる可能性があります。

第1四半期累計期間においては、COVID-19の急速な拡大及び長期化したことにより取引先各社が感染予防策として様々な制限を設けた結果、全般的に各社の業績は低調に推移いたしました。With COVID-19の新しい時代を迎えた当第2四半期累計期間では、様々な施策を講じ、営業活動の再開に注力いたしております。

この様な状況のもと、今後のWith/Post COVID-19のニューノーマル社会への変革に対応すべく、危機に強い継続性のある製造現場を作ることが最大のテーマとなっております。IoT・AI技術に加え、“5G+Edge”を活用することはもとより、さらには製造業のデジタル革新（デジタルトランスフォーメーション：DX）の前倒し等により、COVID-19がもたらす危機を乗り越える強い製造現場の革新が求められております。最終的なゴールとして目指すべきところは「工場の無人化」の構築であります。着々とスマートファクトリーの実現化が進んでおり、それを図るための投資が、益々旺盛になっていくことが予想されております。

これらの革新及び構築に欠かせない技術であり、その根幹を担う半導体や電子部品の製造は、益々拡大しております。これらの製造装置においては、当社のアルファフレームシステムが多数利用されており、同時に当社装置部門のFA装置やクリーンブース等の需要も高まることが期待されております。当社といたしましては、これら案件に対する受注活動に注力し、業績の拡大に努めてまいります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	671,945	1,214,630
受取手形及び売掛金	1,022,814	951,743
電子記録債権	1,152,399	1,180,091
商品及び製品	220,266	273,864
仕掛品	580,097	454,454
原材料及び貯蔵品	462,375	460,568
その他	206,159	28,528
流動資産合計	4,316,058	4,563,882
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,070,892	3,074,841
減価償却累計額	△1,346,654	△1,398,639
建物及び構築物（純額）	1,724,237	1,676,202
土地	733,647	733,647
その他	985,494	1,094,645
減価償却累計額	△653,652	△682,731
その他（純額）	331,842	411,914
有形固定資産合計	2,789,727	2,821,764
無形固定資産		
その他	44,659	39,499
無形固定資産合計	44,659	39,499
投資その他の資産		
その他	280,849	322,200
投資その他の資産合計	280,849	322,200
固定資産合計	3,115,236	3,183,464
資産合計	7,431,294	7,747,347

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	458,878	417,039
電子記録債務	782,946	820,763
未払法人税等	—	61,976
1年内返済予定の長期借入金	131,000	131,000
賞与引当金	63,446	71,044
製品保証引当金	1,745	2,794
その他	143,664	225,923
流動負債合計	1,581,681	1,730,541
固定負債		
長期借入金	934,000	1,068,500
退職給付に係る負債	211,836	218,213
その他	60,293	104,997
固定負債合計	1,206,130	1,391,711
負債合計	2,787,812	3,122,252
純資産の部		
株主資本		
資本金	156,100	156,100
資本剰余金	145,636	145,636
利益剰余金	4,358,330	4,314,500
自己株式	△34,772	△34,791
株主資本合計	4,625,295	4,581,445
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,788	30,038
為替換算調整勘定	13,292	13,528
その他の包括利益累計額合計	18,081	43,567
非支配株主持分	104	81
純資産合計	4,643,482	4,625,094
負債純資産合計	7,431,294	7,747,347

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
売上高	3,508,479	3,284,640
売上原価	2,733,012	2,591,044
売上総利益	775,467	693,596
販売費及び一般管理費	627,522	588,275
営業利益	147,944	105,320
営業外収益		
受取配当金	4,932	1,280
仕入割引	2,289	2,333
その他	1,468	2,444
営業外収益合計	8,690	6,057
営業外費用		
支払利息	4,042	3,688
投資有価証券評価損	4,945	—
その他	20	387
営業外費用合計	9,008	4,075
経常利益	147,626	107,302
税金等調整前四半期純利益	147,626	107,302
法人税、住民税及び事業税	51,787	53,520
法人税等調整額	890	△11,335
法人税等合計	52,677	42,185
四半期純利益	94,948	65,117
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△33	△23
親会社株主に帰属する四半期純利益	94,982	65,140

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	94,948	65,117
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	14,976	25,249
為替換算調整勘定	△281	236
その他の包括利益合計	14,695	25,485
四半期包括利益	109,643	90,603
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	109,677	90,626
非支配株主に係る四半期包括利益	△34	△22

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	147,626	107,302
減価償却費	82,102	103,453
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△115	—
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△13,805	7,597
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,790	1,049
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	6,363	6,377
受取利息及び受取配当金	△4,942	△1,284
支払利息及び手形売却損	4,042	3,688
投資有価証券評価損益 (△は益)	4,945	—
売上債権の増減額 (△は増加)	978,718	44,292
たな卸資産の増減額 (△は増加)	78,340	73,786
仕入債務の増減額 (△は減少)	△476,754	△4,072
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△194,429	177,508
為替差損益 (△は益)	△658	538
その他	△8,436	18,432
小計	601,206	538,671
利息及び配当金の受取額	4,799	1,284
利息の支払額	△4,042	△3,688
法人税等の支払額	△98,980	△857
法人税等の還付額	—	66,149
営業活動によるキャッシュ・フロー	502,983	601,559
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△413,134	△60,851
無形固定資産の取得による支出	△2,600	△1,550
投資有価証券の取得による支出	△2,400	△2,400
投資有価証券の売却による収入	3,690	—
その他	△2,786	△1,416
投資活動によるキャッシュ・フロー	△417,231	△66,218
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	550,000	200,000
長期借入金の返済による支出	△65,500	△65,500
自己株式の取得による支出	△36	△19
配当金の支払額	△108,859	△109,102
その他	△15,595	△17,522
財務活動によるキャッシュ・フロー	360,008	7,855
現金及び現金同等物に係る換算差額	△329	△511
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	445,430	542,685
現金及び現金同等物の期首残高	617,831	671,945
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,063,261	1,214,630

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間(自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)

該当事項はありません。

3. その他

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 受注実績

当第2四半期連結累計期間における受注実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	受注高 (千円)	前年同四半期比 (%)	受注残高(千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,569,982	126.7	1,466,267	165.3
装置部門	457,898	62.0	306,643	71.5
商事部門	489,570	86.8	318,467	124.2
合計	3,517,451	105.6	2,091,378	133.0

(注) 上記の金額は販売価格で表示しており、消費税等は含まれておりません。

② 販売実績

当第2四半期連結累計期間における販売実績をセグメントごとに示すと、次のとおりであります。

セグメント名称	販売高 (千円)	前年同四半期比 (%)
アルファフレーム部門	2,287,818	102.1
装置部門	457,820	65.1
商事部門	539,001	95.6
合計	3,284,640	93.6

(注) 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。